

加美電子工業株式会社

宮城県加美郡加美町

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

乾燥エネルギーの大幅削減 エキスパート人材雇用への取り組み

同社は1970年に新しい農村型企業を目指して創立され、バブルやリーマンショック等の経済変動に全社一丸となって克服し、2000年にはクリーンルーム新本社工場を設けた。

現在、代表的国内メーカーの電子・機械部品、車載電装部品など表面処理加工を中心に一貫生産を行っている。今後、急激な技術革新に対応した技術開発、設備刷新、内部体制強化を図り、顧客の進歩にも順応しつつ、CO2塗装法に代表されるユニークな企業としての地位を確立しつつある。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 宮城県加美郡加美町字下野目雷北6 | ● 設立 | 1970年 |
| ● 電話/FAX | 022-967-3110/022-967-6930 | ● 資本金 | 4,800万円 |
| ● URL | http://www.kamidenshi.com/ | ● 従業員数 | 110人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 早坂 裕 | | |



高圧CO2の噴霧で乾燥エネルギーを削減

地球環境に有害な揮発性有機化合物 (VOLATILE ORGANIC COMPOUNDS; 略VOC) は、塗装時における排出量が全VOC排出量の第1位、3割以上に及んでおり塗装時のVOC削減が最も効果的である。同社で開発した革新的CO2塗装システムは塗装で使用する希釈溶剤を高圧CO2に代替することで、発生するVOCを1/3に大幅に削減可能な塗装技術である。装置の開発は産業技術総合研究所(産総研)、宮城県産業技術総合センター(公設試)との共同開発を経て世界で初めて実用化に至った。



CO2塗装装置

生産面および技術面でのイノベーション

塗装ラインにおける工程間の効率化を図るため、成型品を洗浄、塗装、乾燥まで移送ロボットによりインからアウトまでを自動化ラインにすることで生産性向上を図っている。水性塗料ラインにおいて成形品の洗浄工程や塗装環境を従来のラインよりシビアに管理しており、高付加価値な製品を提供しています。次世代のフィルム印刷に向け、ロータリースクリーン印刷機の導入、ロールトゥロールのシルク印刷を可能にするなど、機能とコストの両立の追求により、お客様の要望に応えています。



移送ロボット

エキスパート人材、65歳以上の人材雇用で次世代へ継承推進

同社は新規技術開発の社会的、経済的価値を明確にして、それらを実現するため情報や知識を入手して行動・決断することとエキスパート人材の雇用、65歳以上の継続雇用に積極的に取り組んでいる。

また「ものづくりは人づくり」を合言葉に、次世代への人材育成を積極的に行うことにより技術力の向上・付加価値の高い高難易度製品へのチャレンジを行なっている。これらを継続して経営に活かしていくことで高付加価値や環境負荷低減・コストメリットを共立させている。



QC大会